

ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律に基づき提出された
特定胚の作成及び譲受届について（一覧）

令和 8 年 8 月 21 日
文部科学省研究振興局
ライフサイエンス課
生命倫理・安全対策室

特定胚（動物性集合胚）作成届：6 件

終了した計画：

1	届出をした機関	国立大学法人東京大学
	作成する場所	東京大学医科学研究所
	作成予定日	2010 年 9 月 7 日～2020 年 3 月 31 日
	作成責任者	中内 啓光
	作成の目的・方法	ヒトに移植することが可能なヒトの細胞からなる臓器の作成に関する基礎的研究として、ヒト i P S 細胞をマウス等の胚に移植して動物性集合胚を作成し、臓器作成に不可欠なキメラ形成能の有無を評価。
	届出年月日	2010 年 7 月 7 日
	委員会意見聴取	第 77 回 特定胚及びヒト E S 細胞等研究専門委員会（2010 年 7 月 28 日） 旧サイト「ライフサイエンスの広場」（※WARP ヘルリンク）
2	届出をした機関	国立大学法人東京大学
	作成する場所	東京大学医科学研究所
	作成予定日	2019 年 8 月 22 日～2023 年 3 月 31 日
	作成責任者	中内 啓光
	作成の目的・方法	ヒトに移植することが可能なヒト細胞由来臓器を動物体内で作成する基礎的研究として、ヒト細胞と正常動物胚又は標的とする臓器を欠損した動物胚との間で動物性集合胚を作成し、ヒト-動物キメラが成立する条件を明らかにする。
	届出年月日	2019 年 6 月 24 日
	委員会意見聴取	第 111 回 特定胚等研究専門委員会（2019 年 7 月 24 日） 旧サイト「ライフサイエンスの広場」（※WARP ヘルリンク）
3	届出をした機関	学校法人明治大学
	作成する場所	明治大学農学部
	作成予定日	2020 年 1 月 23 日～2026 年 3 月 31 日
	作成責任者	長嶋 比呂志
	作成の目的・方法	ヒトに移植することが可能なヒト細胞由来臓器をブタ体内で作成する基礎的研究として、ヒト i P S 細胞-ブタ受精卵を用いて動物性集合胚を作成し、ブタの臓器形成過程にヒト細胞が寄与することが可能かどうかを検証することを目的とする。
	届出年月日	2019 年 11 月 28 日
	委員会意見聴取	第 115 回 特定胚等研究専門委員会（2019 年 12 月 23 日） 旧サイト「ライフサイエンスの広場」（※WARP ヘルリンク）

4	届出をした機関	国立大学法人東京科学大学
	作成する場所	東京科学大学
	作成予定日	2022年11月1日～2027年3月31日
	作成責任者	中内 啓光
	作成の目的・方法	ヒトに移植することが可能なヒト細胞由来臓器を動物体内で作成する基礎的研究として、ヒト細胞と正常動物胚又は標的とする臓器を欠損した動物胚との間で動物性集合胚を作成し、ヒト-動物キメラが成立する条件を明らかにする。
	届出年月日	2022年9月6日
5	委員会意見聴取	第119回 特定胚等研究専門委員会（2022年10月6日） 旧サイト「ライフサイエンスの広場」（※WARPへリンク）
	届出をした機関	公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団
	作成する場所	中之島クロス（京都大学 iPS 細胞研究財団ラボエリア）
	作成予定日	2025年8月9日～2028年3月31日
	作成責任者	塚原 正義
	作成の目的・方法	動物体内でのヒト臓器作製の基礎的知見の獲得を目標として、ブタ胚にヒト iPS 細胞を移植して動物性集合胚を作製し、ヒト iPS 細胞がブタ胚内（in vitro 環境）で生育可能かを確認するとともに、ブタ胚内で生育可能なヒト iPS 細胞の作製方法・培養条件を確立する。
6	届出年月日	2025年7月4日
	委員会意見聴取	第128回 特定胚等研究専門委員会 （2025年7月22日）
	届出をした機関	国立大学法人 東海国立大学機構
	作成する場所	岐阜大学
	作成予定日	2026年7月31日～2028年3月31日
	作成責任者	高須 正規
6	作成の目的・方法	ヒト移植に適した腎臓などの臓器の作成を目指し、ブタ胚を用いた動物性集合胚の作成を行い、ブタ受精卵内（胚盤胞等の in vitro 環境）でヒト iPS 細胞の寄与率が高くなる条件等の検討を目的とする。
	届出年月日	2026年6月10日
	委員会意見聴取	第131回 特定胚等研究専門委員会 （2026年7月17日）

特定胚（動物性集合胚）譲受届：1件

1	届出をした機関	国立大学法人東京大学
	譲受する場所	東京大学農学部
	譲受予定日	2022年11月2日～2027年3月31日
	研究責任者	金井 克晃
	譲受の目的・譲受後の取扱いの方法	ヒトに移植することが可能なヒト細胞由来臓器を動物体内で作成することを目指し、ヒト細胞と正常動物胚又は標的とする臓器を欠損した動物胚との間で作成された動物性集合胚を譲受し、ヒト-動物キメラが成立する条件を明らかにする。
	届出年月日	2022年9月6日
	委員会意見聴取	第119回 特定胚等研究専門委員会（2022年10月6日） 旧サイト「ライフサイエンスの広場」（※WARPへリンク）